

## 「医師目指すきっかけに」



「ブラックジャックセミナー」への参加を呼び掛ける逢坂代表

中学生が外科手術や内視鏡治療を模擬体験するイベント「ブラックジャックセミナー」が11月6日、北見赤十字病院で初開催される。医師不足が続く中、地域から医師を目指す若者が増えればと、市民グループ「北見赤十字病院の明日を考えた会」(逢坂信治代表)が企画した。このイベントは医療器具メーカー「ジョンソン・エンド・ジョンソン」(東京)が2005年から各地で開催している。今回、支援する会が同社に北見日赤での開催を打診

## 11月に「ブラックジャックセミナー」

### 北見 中学生が手術や縫合模擬体験

同社の担当者は「市民グループによる企画は珍しい。地域ぐるみで医療を支えたいという熱意に共感した」と話す。イベントでは北見日赤の医師や看護師らの指導で、実際の医療器具を使った外科手術や縫合、内視鏡手術などの模擬体験を行う。逢坂代表は「医療現場を身近に感じ、医師を志すきっかけになればうれしい」と期待する。

参加無料。市内の中学生が対象で、支援する会が各中学校を通して参加者を募っている。定員は25人。

問い合わせ、申し込みは支援する会事務局の阿久津さん  
0157・61・0684

(権藤泉)

2016.09.09